

# アネスト岩田株式会社 2023年3月期 決算補足説明資料

2023年5月9日

東証プライム市場 機械

証券コード6381

年度を通じて海外売上が全体をけん引。

昨年10月実施の国内値上げによる原価率改善及び商品ミックスの変動に伴い利益率が上昇

(百万円)

売上高	48,515	
	エアエナジー 29,349 (60.5%)	コーティング 19,165 (39.5%)
営業利益	5,838	
	エアエナジー 3,269 (56.0%)	コーティング 2,569 (44.0%)

単位 (百万円)	エアエナジー事業			コーティング事業		
	2023年3月期	前年同期比		2023年3月期	前年同期比	
	実績	増減	増減率(%)	実績	増減	増減率(%)
売上高	29,349	+4,334	+17.3	19,165	+1,843	+10.6
営業利益	3,269	+755	+30.1	2,569	+302	+13.3
営業利益率 (%)	11.1	+1.1pts	—	13.4	+0.3pts	—

- インドでは年間を通じて汎用機種及び特定市場※向けオイルフリー圧縮機の売上が高水準で推移。中国ではSCR社の輸出販売が好調で売上拡大に寄与
- 中国や北米においてリチウムイオン電池製造関連装置向け真空ポンプが伸長

- 欧州ではマーケティング戦略の奏功により新型スプレーガンの販売拡大が継続
- 日本では受注残であった塗装設備の納入が完了。中国では活動制限の影響や前年度の大形物件計上の反動により売上が減少

※特定市場：医療、車両搭載、分析などの特定用途

(注)1.事業別営業利益は当社グループ独自の基準により算定。

2.日本とインドの期末は3月、他地域は12月であり、他地域の連結決算は3か月の期ズレが発生。

前中期経営計画から進めてきた事業戦略の奏功により、想定以上に収益が拡大。売上高及び各利益指標において1926年創業以来の過去最高実績を実現

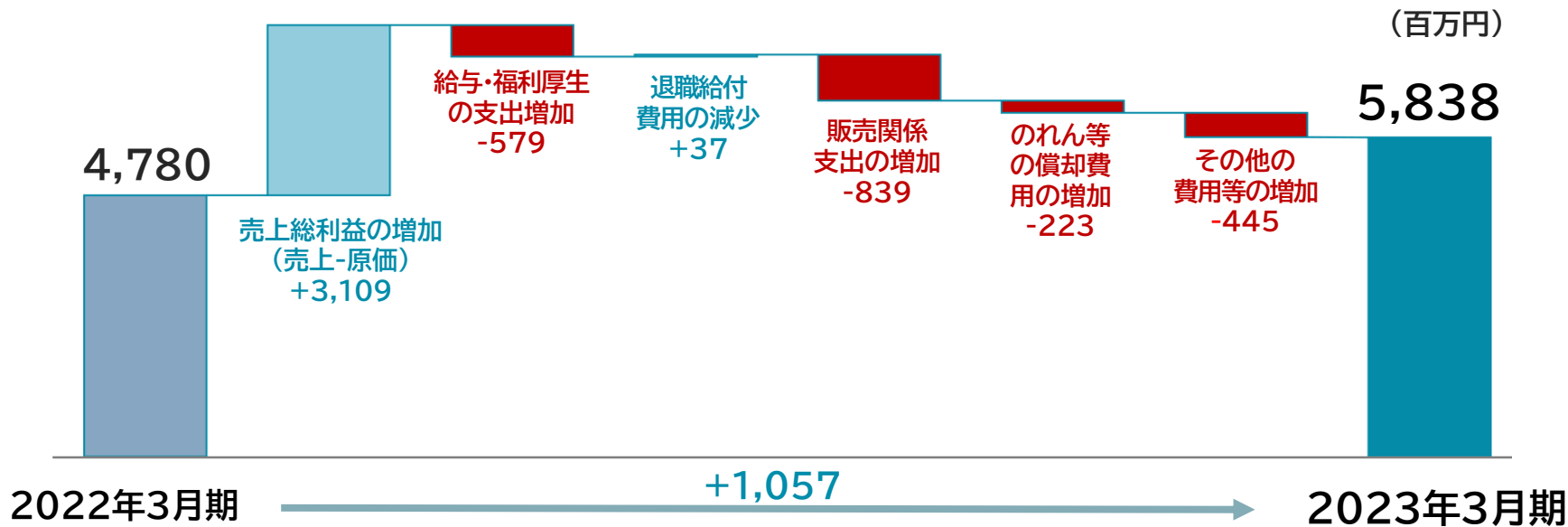
- 売上高は、海外市場(特に欧州及びインドを主としたその他のエリア)が牽引。為替の影響は+3,487百万円

	2022年3月期		2023年3月期		前年同期比			2023年3月期業績予想	
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化 (pts)	期初	3月10日発表
売上高	42,337	—	48,515	—	+6,178	+14.6	—	44,000	48,500
営業利益	4,780	11.3	5,838	12.0	+1,057	+22.1	+0.7	4,900	5,500
経常利益	5,572	13.2	7,043	14.5	+1,471	+26.4	+1.3	5,650	6,600
親会社株主 帰属純利益	3,541	8.4	4,381	9.0	+840	+23.7	+0.7	3,580	4,100
平均為替レート 円/米ドル	109.80 円		131.43 円		21.63 円 円安			118.00	133.30
平均為替レート 円/ユーロ	129.89 円		138.04 円		8.15 円 円安			137.00	138.27
平均為替レート 円/人民元	17.03 円		19.48 円		2.45 円 円安			18.50	19.78
<b>年間配当</b>	30円		38円		+8円 増配			31円	36円

【為替の感応度について】営業利益ベースによる傾向値(下記にて通貨割合は反映されておられません)

1円の円安にて、米ドル:10百万円/年、ユーロ:10百万円/年、人民元:30百万円/年、それぞれ増加

営業活動の活発化や海外人件費上昇に伴い販売管理費増加も、増収効果や海外経費統制の徹底により増益



累計	原価率 (%)	販売管理費率 (%)
2022年3月期4Q	56.9	31.8
2023年3月期1Q	56.1	35.6
2Q	57.1	32.5
3Q	56.4	31.8
4Q	56.0	31.9

**[+] 売上総利益の増加:前年同期比 +3,109百万円**

- ・売上高の増加(同 +6,178百万円)
- ・日本において昨年10月に実施した値上げの浸透等により、売上原価率が低下(同 -0.9pts)
- ・売上原価への為替影響額は+2,232百万円

**[-] 販売管理費の増加:前年同期比 +2,051百万円**

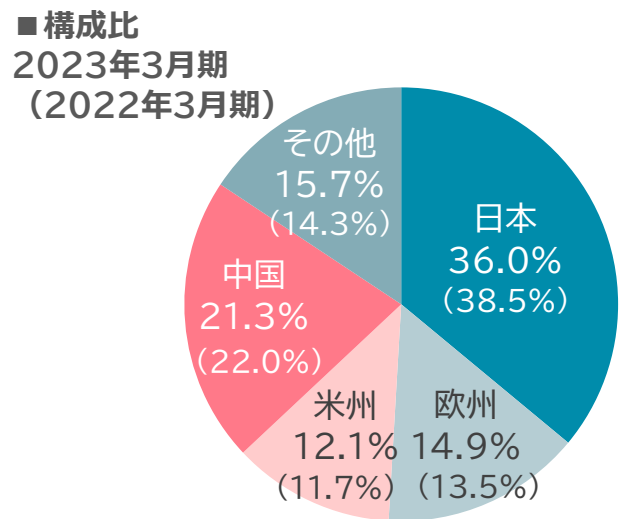
- ・経済活動の活性化とともに、実需に合わせて旅費交通費やリアル展示会への参加などに伴う広告宣伝費が増加
- ・海外における人件費の増加
- ・営業改革関連のソフトウェアに係る償却費用や支払手数料の増加。減価償却費は前年同期比+192百万円

欧州の新型スプレーガン販売効果の継続、中国やインドにおける圧縮機の販売拡大などにより海外売上が好調に推移 (海外売上比率:64.0%)

- 日本** ■ 増収。圧縮機は年度末にかけて設備投資意欲が上昇したこと、電子部品の調達状況も回復基調となったことから売上伸長。一方で半導体市場の調整局面入りで真空ポンプ販売は一服。塗装設備は受注残の納入完了
- 欧州** ■ 増収。自動車補修市場向け新型スプレーガンの需要拡大。戦略的なマーケティング活動や圧縮機の販路開拓強化を推進
- 米州** ■ 増収。エリア全体で車両搭載向け圧縮機が伸長したほか、南米の医療向け圧縮機や北米の工業塗装市場向け塗装機器が伸長。リチウムイオン電池製造市場向け真空ポンプの需要拡大。
- 中国** ■ 増収。引き続きSCR社の輸出販売が好調。リチウムイオン電池製造市場向け圧縮機や真空ポンプの需要拡大。塗装機器はゼロコロナ政策による活動制限の影響が残るも為替の影響等により売上伸長
- その他** ■ 増収。インドでは、汎用及び特定市場向け圧縮機の需要拡大が継続。東南アジアでの販路開拓進展。複数エリアの技術者から成るグローバル・テクニカルチームの活動成果により、東南アジアの自動車補修市場向けスプレーガン売上が伸長

【セグメント区分】現中期経営計画の策定に伴い、当連結会計年度より所在地別セグメントの区分方法を変更  
 欧州:従来のヨーロッパにロシアを追加、米州:アメリカ、メキシコ、ブラジル、その他:中国を除くアジア、オーストラリア、南アフリカ

(百万円)	2022年 3月期	2023年 3月期	前年同期比		エアエナジー事業		コーティング事業	
			増減額	増減率(%)	圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備
日本	16,313	17,473	+1,160	+7.1	○	●	○	◎
欧州	5,705	7,233	+1,528	+26.8	◎	◎	◎	-
米州	4,970	5,863	+893	+18.0	◎	◎	◎	◎
中国	9,299	10,336	+1,037	+11.2	◎	◎	◎	×
その他	6,047	7,608	+1,561	+25.8	◎	○	◎	◎
合計	42,337	48,515	+6,178	+14.6	◎	◎	◎	●



前年同期比:◎ 10%~ ○ 3%~10% △ 0%~3% ▽ 0%~-3% ● -3%~10% × -10%~

- ・部材供給の安定化に伴い、在庫適正化を推進中(「原材料及び貯蔵品」は3Q比-653百万円)
- ・業績伸長や円安進行の影響を受けて大幅に純資産が増加

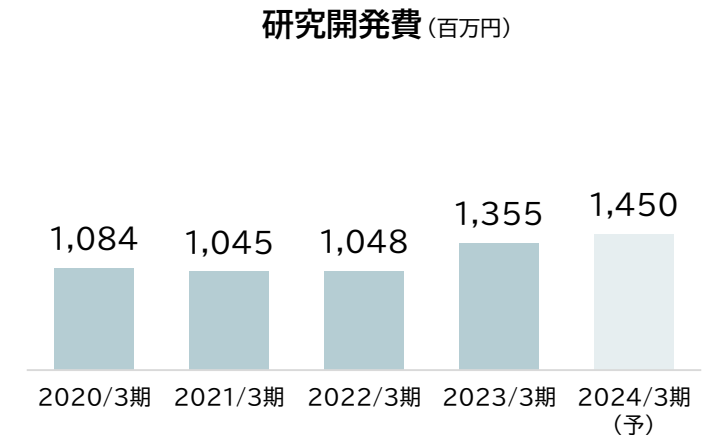
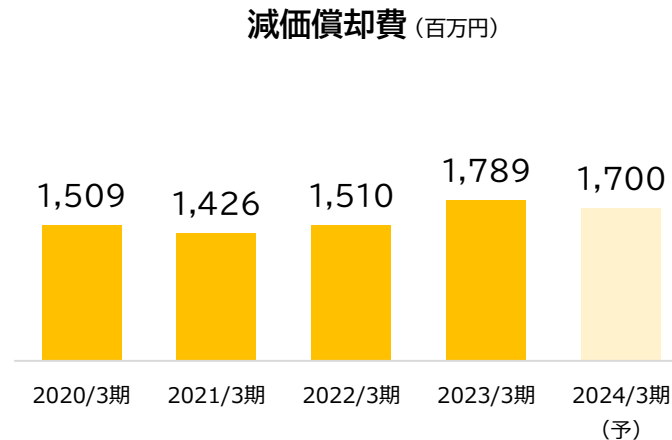
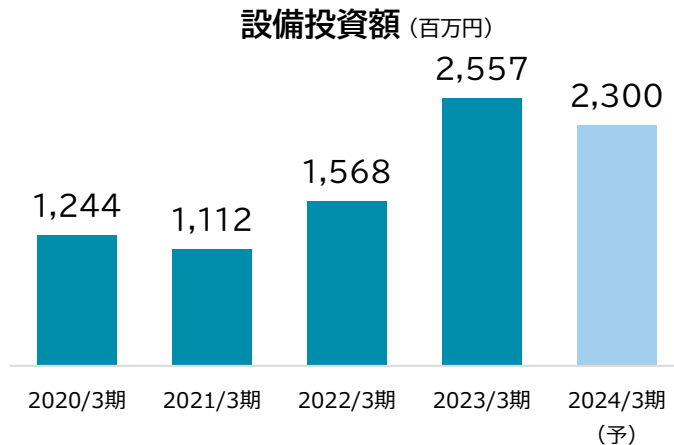
		2022年3月期	2023年3月期	対前期末差異		
		通期期末	通期期末	増減額 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
		実績 (百万円)	実績 (百万円)			
資産	流動資産	34,326	36,773	+2,447	+7.1	・「受取手形及び売掛金」の増加 +1,097百万円 ・「原材料及び貯蔵品」の増加+517百万円
	固定資産	21,492	23,363	+1,870	+8.7	・「建物及び構築物」の増加 +903百万円 ・「投資有価証券」の増加+934百万円
	<b>資産</b>	<b>55,818</b>	<b>60,136</b>	<b>+4,317</b>	<b>+7.7</b>	
負債及び 資本	流動負債	11,616	11,719	+103	+0.9	・「支払手形及び買掛金」の増加 +130百万円
	固定負債	3,992	3,161	-831	-20.8	・退職給付信託の設定に伴う「退職給付に係る負債」の減少 -1,043百万円
	<b>負債</b>	<b>15,608</b>	<b>14,881</b>	<b>-727</b>	<b>-4.7</b>	
	株主資本	34,582	37,466	+2,883	+8.3	・「利益剰余金」の増加+3,037百万円
	その他の包括利益 累計額	1,040	2,558	+1,518	+146.0	・「為替換算調整勘定」の増加 +1,355百万円
	非支配株主持分	4,586	5,229	+643	+14.0	
	<b>純資産</b>	<b>40,210</b>	<b>45,255</b>	<b>+5,045</b>	<b>+12.5</b>	
	<b>負債・純資産</b>	<b>55,818</b>	<b>60,136</b>	<b>+4,317</b>	<b>+7.7</b>	

＜設備投資＞IT投資や福島(圧縮機製造)工場をはじめとした生産設備投資などにより計画上振れ  
 ・2Qに発生したアメリカのエアブラシ※、補器の販売子会社による固定資産取得(460百万円)を含む

※ホビーやアート、メイク市場などで用いられる小形の塗装器具

(百万円)	2023年3月期 実績		
	設備投資額	減価償却費	研究開発費*
実績	2,557	1,789	1,355
計画	2,000	1,680	1,200
進捗率	127.9	106.5	112.9
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT関連投資(製品サイトシステム、商品情報管理システムの構築)</li> <li>・事務所の移転</li> <li>・生産ラインの更新・増強</li> <li>・各種工作機械等(新設・更新)</li> <li>・通信インフラ整備</li> </ul>		

(注)研究開発費:研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値



売上高51,800百万円(前年同期比+6.8%)、営業利益6,100百万円(前年同期比+4.5%)

		2023年3月期(実績)	
		実績 (百万円)	構成比 (%)
売上高		48,515	100.0
エアエナジー	圧縮機	26,983	55.6
	真空機器	2,366	4.9
	小計	29,349	60.5
コーティング	塗装機器	16,512	34.0
	塗装設備	2,652	5.5
	小計	19,165	39.5
営業利益		5,838	12.0
エアエナジー		3,269	—
コーティング		2,569	—
経常利益		7,043	14.5
親会社帰属当期純利益		4,381	9.0
平均為替レート 円/米ドル		131.43	(実績)
平均為替レート 円/ユーロ		138.04	
平均為替レート 円/人民元		19.48	
配当:中間+期末=年間		16円+22円=38円	

2024年3月期(予定)			
目標値 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
51,800	—	+3,284	+6.8
—	—	—	—
—	—	—	—
31,300	60.4	+1,950	+6.6
—	—	—	—
—	—	—	—
20,500	39.6	+1,334	+7.0
6,100	11.8	+261	+4.5
3,380	—	+110	+3.4
2,720	—	+150	+5.9
7,100	13.7	+56	+0.8
4,407	8.5	+25	+0.6
136.00	(想定)	4.57円 円安	
142.00		3.96円 円安	
19.15		0.33円 円高	
17円+23円=40円			

※配当:2023年3月期期末配当は6月23日の第77期定時株主総会で正式に決定する予定です。2024年3月期は予想値です。



- ・東欧の紛争を始めとする地政学的リスクや各国の金融政策などから、外部環境の想定は依然として困難な状況
- ・各国における値上の浸透や業務改革を継続し、収益力を高めることで増収増益を目指す

## 前提条件

売上高 51,800百万円(前年同期比+6.8%)

- エネルギー・資源価格や部材の仕入れ価格の高騰などに伴う世界経済の成長鈍化
- 半導体や電子部品の供給不足のさらなる解消
- 為替の想定レートを柔軟に見直し
- 国内外を問わず塗装設備の着実な受注増
- 継続している自動車メーカーの新車出荷遅延については影響少
- 海外を中心に汎用及び特定市場向け圧縮機の需要増加傾向は継続

営業利益 6,100百万円(前年同期比+4.5%)

- 国内外で実施した値上効果
- 営業改革や業務効率の改善を継続
- 新規事業に対する投資

## 業績拡大により、期初予想より7円の増配を実施

## 配当方針

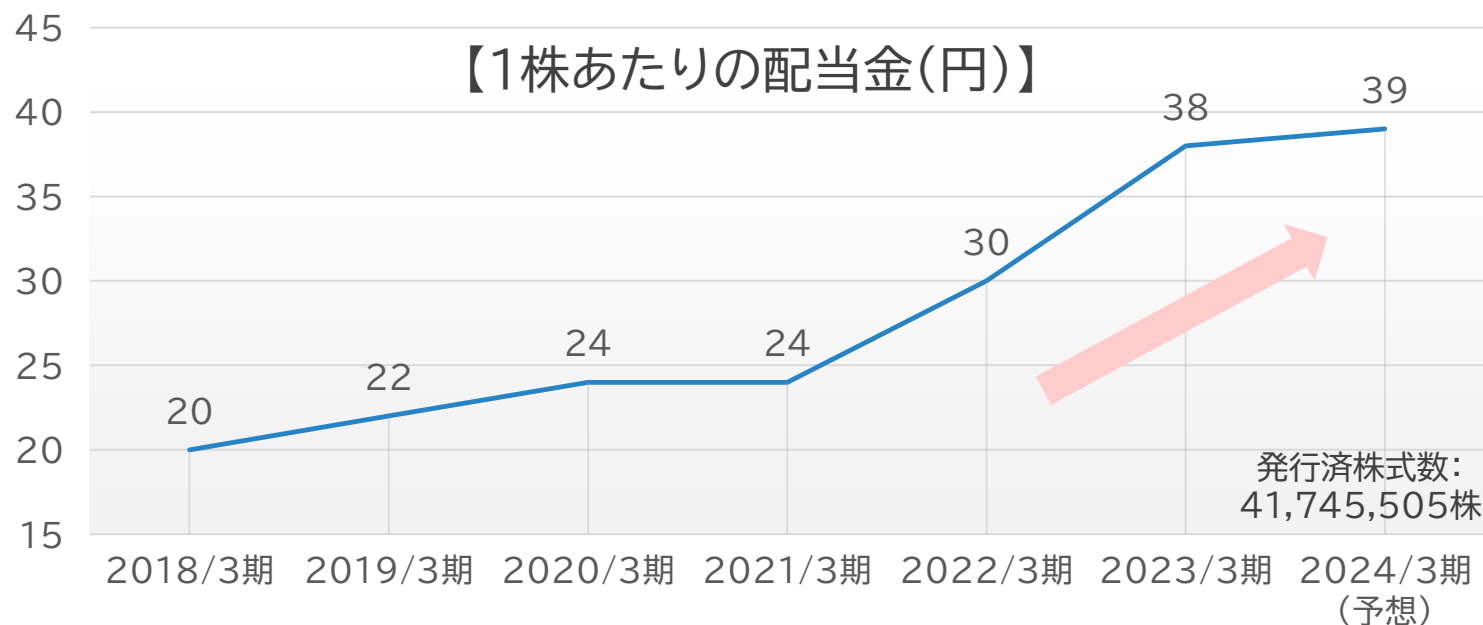
- 成長投資の為の内部留保確保と安定配当の両立
- 配当性向は35%を目安

## 配 当

配当	中間(円)	期末(円)	年間(円)	配当性向(%)
2022年3月期 実績	13	17	30	34.8
2023年3月期 期初予想	15	16	31	—
実績	16	22(予定)	38(予定)	35.1(予定)
2024年3月期 予想	17	23	40	36.9

## 自社株買い

- 今中期経営計画において、1,500百万円程度を計画



# モータースポーツをプラットフォームとして、新領域を開拓。新規事業のタネを発掘

2023年より、「ANEST IWATA Racing」としてモータースポーツに参戦(2023年2月7日発表)  
 2023シーズンより、「グランツーリスモ」と強力なタッグを組み Super GT GT300クラスへ参戦



Gran Turismo 7:TM/©2022 Sony Interactive Entertainment Inc. Developed by Polyphony Digital Inc.

モータースポーツを突破口にして、新たなパートナーや顧客と出会い、新たな企業イメージを社内外の双方でカタチ創るブランディングの要にするとともに、新規事業創出のプラットフォームとして活用



## 新領域開拓による波及効果

新たな企業イメージ形成

新規顧客の認知獲得

既存顧客の認知変化

社内の意識変化

機械セクターホワイト企業No.1を目指し、健康経営を推進中。取り組みの成果として、

「健康経営銘柄」に2年連続で選定、「健康経営優良法人(ホワイト500)」に3年連続で認定

当社の目指す健康:「笑顔でイキイキと輝いていること」の実現



## 健康経営銘柄 2023

Health and Productivity

### 「健康経営銘柄」とは

「健康経営銘柄」とは、経済産業省と東京証券取引所の共同で、「健康経営優良法人」に認定された上位500位以内「ホワイト500」の上場企業の中から、業種毎に原則1社が選定される制度です。

### 「健康経営優良法人認定制度」とは

経済産業省と日本健康会議が共同で、従業員などの健康に配慮した優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度で、原則上位500社に「ホワイト500」が認定されます。

- ・営業利益:国内の値上げ効果等により売上原価率は良化(前年同期比-0.9pts)
- ・経常利益:為替差益は前期比+233百万円
- ・特別利益:経営の効率化を目的とした中国子会社の清算により、2Qに56百万円発生

	2022年3月期		2023年3月期		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率変化 (pts)
売上高	42,337	—	48,515	—	+6,178	+14.6	—
売上原価	24,109	56.9	27,178	56.0	+3,068	+12.7	-0.9
売上総利益	18,227	43.1	21,337	44.0	+3,109	+17.1	+0.9
販売管理費	13,447	31.8	15,498	31.9	+2,051	+15.3	+0.2
営業利益	4,780	11.3	5,838	12.0	+1,057	+22.1	+0.7
営業外収益	892	2.1	1,313	2.7	+421	+47.2	+0.6
営業外費用	99	0.2	108	0.2	+8	+8.1	-0.0
経常利益	5,572	13.2	7,043	14.5	+1,471	+26.4	+1.4
特別利益	15	0.0	65	0.1	+50	+334.3	+0.1
特別損失	45	0.1	17	0.0	-27	-61.1	-0.1
税金等調整前純利益	5,541	13.1	7,091	14.6	+1,549	+28.0	+1.5
法人税等	1,392	3.3	1,821	3.8	+428	+30.8	+0.5
非支配株主帰属純利益	607	1.4	887	1.8	+280	+46.2	+0.4
親会社株主帰属純利益	3,541	8.4	4,381	9.0	+840	+23.7	+0.7

【累計】

単位:百万円		2023年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
売上高		9,999	22,613	34,832	48,515
前年同期比		+9.9%	+11.1%	+15.2%	+14.6%
エアエナジー	圧縮機	5,583	12,586	19,712	26,983
	前年同期比	+10.3%	+12.4%	+16.7%	+17.6%
	真空機器	518	1,115	1,751	2,366
	前年同期比	+25.8%	+22.0%	+21.9%	+14.6%
	売上高	6,101	13,701	21,464	29,349
前年同期比	+11.5%	+13.1%	+17.1%	+17.3%	
コーティング	塗装機器	3,726	8,055	12,157	16,512
	前年同期比	+12.5%	+12.6%	+16.4%	+14.3%
	塗装設備	171	856	1,210	2,652
	前年同期比	-45.9%	-21.4%	-16.8%	-7.6%
	売上高	3,897	8,911	13,368	19,165
前年同期比	+7.4%	+8.1%	+12.3%	+10.6%	
営業利益		820	2,340	4,114	5,838
前年同期比		-8.1%	-1.6%	+16.6%	+22.1%
エアエナジー	営業利益	505	1,330	2,393	3,269
	前年同期比	+12.9%	+6.4%	+18.0%	+30.1%
コーティング	営業利益	315	1,009	1,720	2,569
	前年同期比	-29.3%	-10.5%	+14.7%	+13.3%

【3か月ごと】

単位:百万円		2023年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高		9,999	12,614	12,219	13,682
前年同期比		+9.9%	+12.0%	+23.8%	+13.0%
エアエナジー	圧縮機	5,583	6,974	7,126	7,271
	前年同期比	+10.3%	+13.6%	+25.3%	+19.9%
	真空機器	518	625	636	614
	前年同期比	+25.8%	+24.4%	+21.6%	-2.0%
	売上高	6,101	7,600	7,762	7,885
前年同期比	+11.5%	+14.4%	+25.0%	+17.9%	
コーティング	塗装機器	3,726	4,329	4,102	4,354
	前年同期比	+12.5%	+12.6%	+24.7%	+8.7%
	塗装設備	171	685	354	1,441
	前年同期比	-45.9%	-11.3%	-3.4%	+2.0%
	売上高	3,897	5,014	4,456	5,796
前年同期比	+7.4%	+8.6%	+21.9%	+7.0%	
営業利益		820	1,519	1,774	1,723
前年同期比		-8.1%	+2.3%	+54.4%	+37.6%
エアエナジー	営業利益	505	825	1,062	875
	前年同期比	+12.9%	+2.8%	+36.7%	+80.4%
コーティング	営業利益	315	694	711	848
	前年同期比	-29.3%	+1.7%	+91.3%	+10.6%

# 塗装用スプレーガンとそれを検査するコンプレッサの製造から出発

1926年創業  
(旧社名:岩田製作所)

米国社製を手本に  
スプレーガンの製造を開始

スプレーガン

塗装用ハンドガン

圧縮空気で  
塗料を霧状に

空気圧縮機

コンプレッサ

スプレーガンの検査用  
圧縮機として製造開始

製品の差別化を  
可能にしたコンセプト

- ・環境対応
- ・塗面作成の提案力

- ・オイルフリー化
- ・省エネ性



塗装ロボット



エアブラシ

製品の多様化  
用途の開拓



オイルフリー  
スクロール型  
真空ポンプ



オイルフリー  
スクロール型  
圧縮機

コーティング事業

塗装機器

スプレーガン、塗料供給  
ポンプなどの機器単体

塗装設備

塗装機器と換気や乾燥装  
置、塗装ロボットなどを  
組み合わせたシステム

エアエナジー事業

圧縮機

空気圧縮機、N2ガス発生装置、  
タンクなどの補器類

真空機器

真空ポンプ、バルブなどの  
補器類

## 将来見通しに関する記述及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。

お問合せ先: アネスト岩田株式会社  
経営企画部 IR・コーポレートコミュニケーション室  
TEL: 045-591-9344  
E-mail: ir\_koho@anest-iwata.co.jp  
URL : <https://www.anestiwata-corp.com/jp>